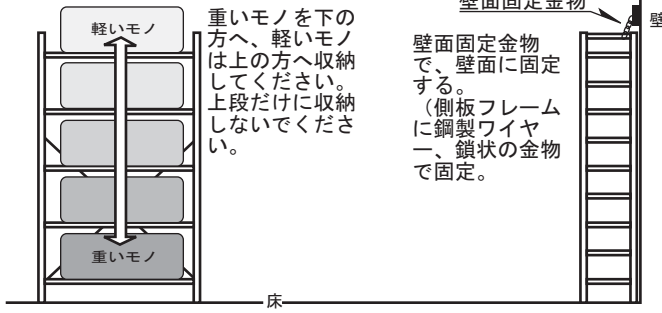


※設置使用に際して、ご注意くださいこと。

警告

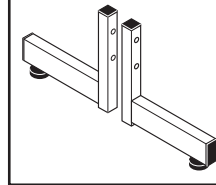
- 家具が倒れてけがをすることを防ぐために、建物の壁面、天井、床等に固定する等の、倒れ防止に留意してください。
- 家具が倒れてけがをすることを防ぐために、上段だけに、収納しないでください。下段より、重い収納物をいれてください。



オプション（別売）で、安定脚をご用意しております。安定脚の取り付けにより、設置面積を広くして、家具の安定を図ります。

安定脚

OS-SP18ARK



※安定脚は、プレス側には、取り付けられません。壁面を背にして設置してください。

Frame-Rack

フレームラック 本体ラック 取扱説明書

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。お読みになった後は、大切に保管してください。

警告

- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 棚板には登らないでください。棚板がはずれて転倒したりこわれてけがをすることがあります。
- 高さ1800mmをこえる天板には物をのせないでください。振動等により物が落下してけがをすることがあります。
- 棚板には40kg以上の物をのせないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。
- 危険物（壊れ物、毒物劇物等を含む薬品類、生き物など）を収納しないでください。人体や衣服を傷つけることがあります。
- 現金、証券等の貴重品は収納しないでください。鍵を壊されて盗まれることがあります。
- 本体を移動させる際、天板を持たないでください。天板がはずれて、ケガをすることがあります。
- ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。本体がこわれてけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体がこわれてけがをすることがあります。
- 用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。

一般のご注意

- 直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- 移動するときは二人以上で側板を持って、持ち上げてください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- 高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- 棚板等の上に水等をこぼしたら、ただちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれることがあります。



お手入れ方法

- ボルトやネジのゆるみが発生した場合は、増し締めを行ってください。
- 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った布などで拭いてください。
- 汚れのひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布などで拭いて洗剤を完全に洗い除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。



お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター

Tel. 0120-331-753 10:00~12:00 13:00~17:00

(土曜日曜、祝日、年末年始を除く)

品質表示

- 外形寸法
 - OS-TW12 幅1265mm×奥行き375mm×高さ38mm
 - OS-TW10 幅1065mm×奥行き375mm×高さ38mm
 - OS-TW09 幅965mm×奥行き375mm×高さ38mm
- 素材
 - 棚下フレーム 鋼製(全機種共通)
 - 棚板 木製(OS-TW12/10/09)

- 取り扱い上の注意
 - 直射日光又は熱を避けてください。
 - 据え付けに際し、湿気の多いところを避け、アジャスターの調整で書庫を水平に設置してください。
- 表示者 プラス株式会社ガラージ営業部
東京都千代田区九段北4-1-7

made in Taiwan

フレームラックOS 基本組立説明書

20201027

組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる恐れがあります。必ず二人以上で組立てください。



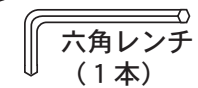
- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください。

注意



- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組み立ててください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。

工具



※組立用の六角レンチは、背プレスに付属しており、本製品には付属していません。

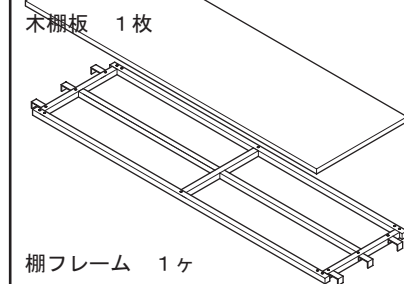
部材

最初に必要な部品が揃っているか確認してください。似ている部品でも左右、上下で異なる場合がありますのでご注意ください。

RACK BOARD (棚板)

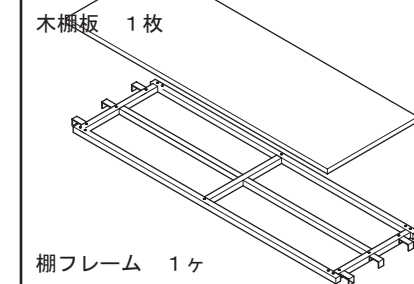
OS-TW12 OS棚板木W12

- フレーム締結金具 6ヶ
- 緩衝材不織布(白) 6枚+予備
- ボルト(M6*15) 6本
- ボルト(M6*30) 6本



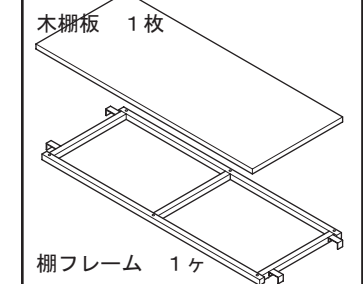
OS-TW10 OS棚板木W10

- フレーム締結金具 6ヶ
- 緩衝材不織布(白) 6枚+予備
- ボルト(M6*15) 6本
- ボルト(M6*30) 6本



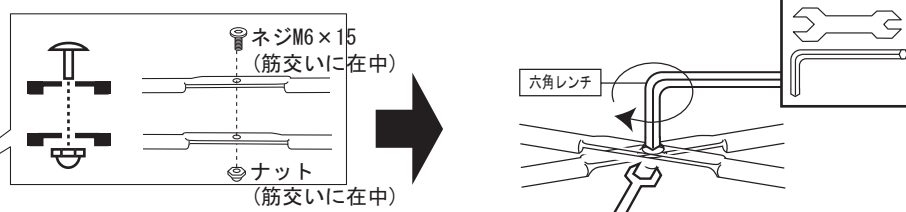
OS-TW09 OS棚板木W9

- フレーム締結金具 4ヶ
- 緩衝材不織布(白) 4枚+予備
- ボルト(M6*15) 4本
- ボルト(M6*30) 6本



①筋交いを組み立てます。

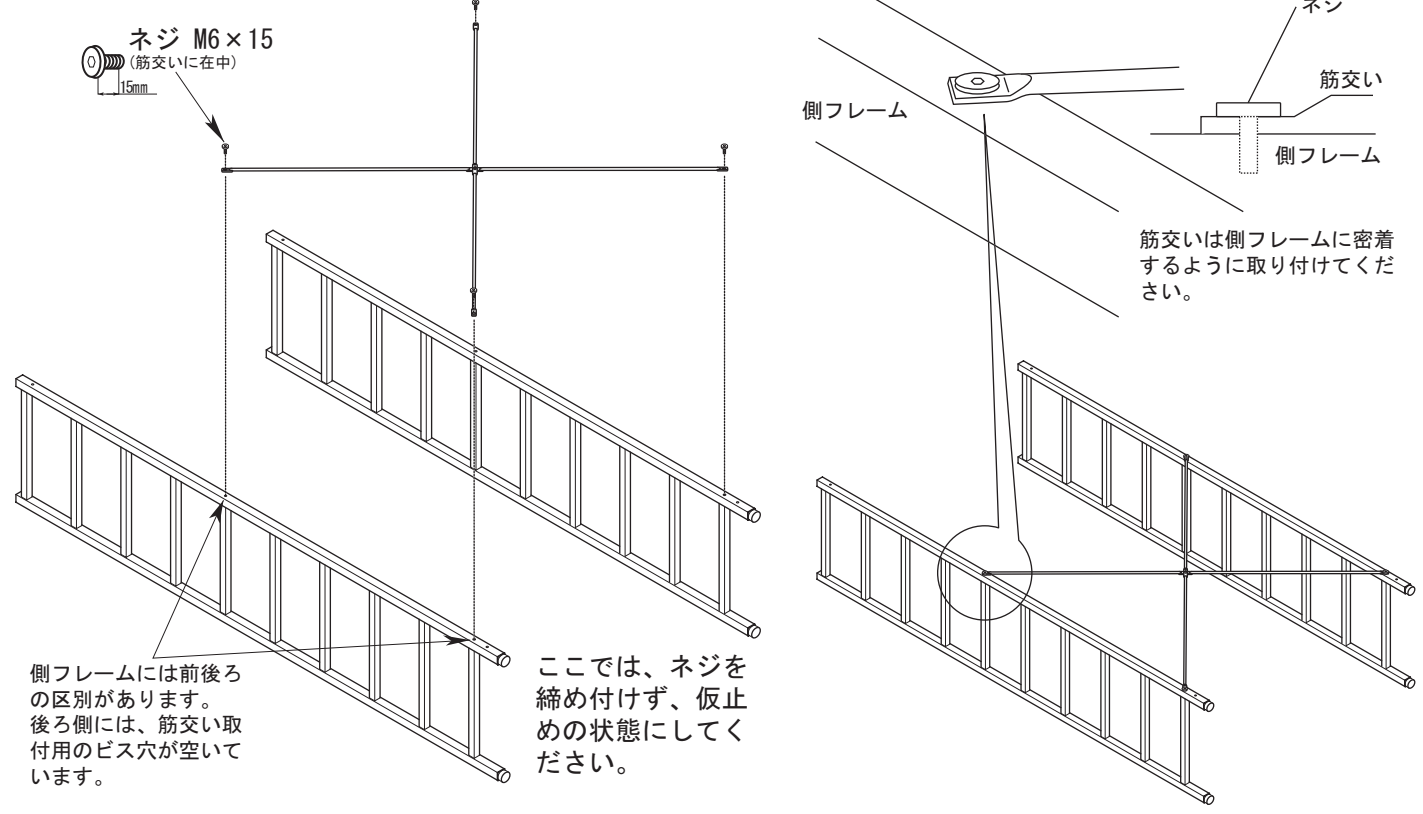
中央部の凹部を同じ方向で組み合わせてネジとナットで十字になるようにセットします。



ボルトをスパナで押さえながら、六角レンチで締めます。(仮止めの状態)

※筋交いは、棚板と同じ幅のモノをお使いください。棚板の幅と筋交いが合っていない状態では、組立できません。
※筋交いは、強度部材ですので、必ずご使用ください。筋交い無しでは、ラックが自立しません。

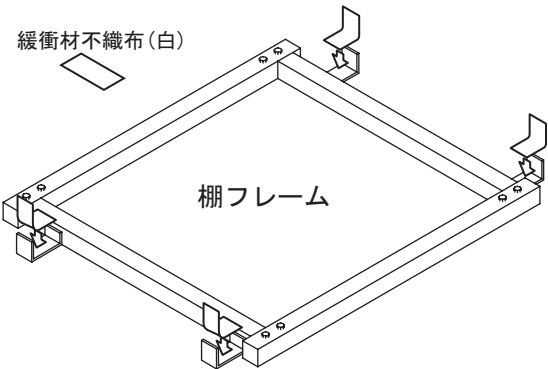
②側フレームに上記の筋交いを取り付けます。



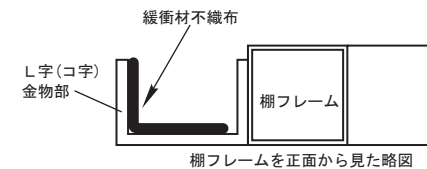
側フレームには前後ろの区別があります。後ろ側には、筋交い取付用のビス穴が空いています。

ここでは、ネジを締め付けず、仮止めの状態にしてください。

③棚フレームに緩衝材を貼り付けます。

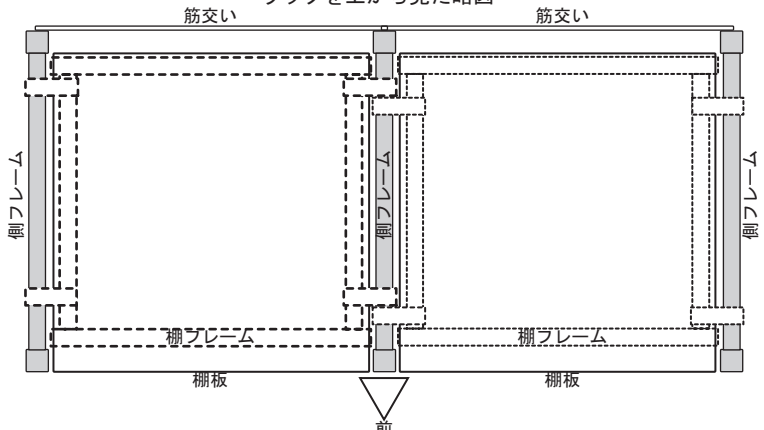


棚フレームを裏返します。次に、緩衝材の不織布(白)の裏面の紙を不織布が剥がれないように注意して剥がします。そして、棚フレームの両サイドの4つのL字(コ字)金物部に図のように貼り付けます。



④棚フレームの取付方を理解しましょう。

OSフレームラックは、横への増連が可能です。そのために、隣り合う棚フレームは、前後を互い違いに設置しなければなりません。

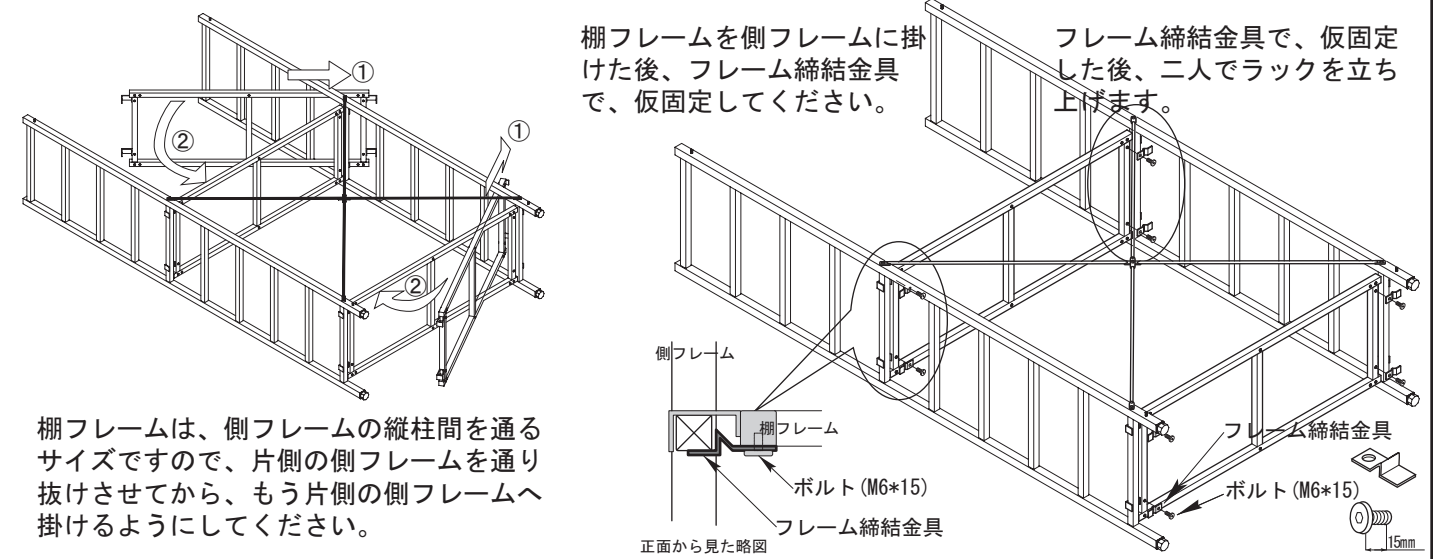


このことを念頭に置いて、最初の1連目は、上図の左側(太い点線)のように、棚フレームの引っ掛け部(L字金物部)が後ろに来るように取り付けるようにすると良いでしょう。

また、側フレームへの取付前に、棚板を棚フレームに取り付けると、棚フレームが取り付けられなくなるので、必ず、先に棚フレームだけを側フレームに取り付けてください。

⑤棚フレームを2ヶ取り付けます。

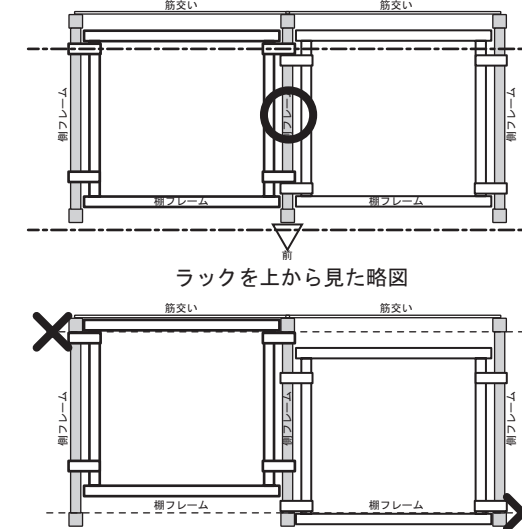
OSフレームラックは、側フレーム、棚フレーム、筋交いにて強度を確保する構造になっています。そのため、棚板(棚フレーム)は筋交い取付部付近に配すると、その効果が発揮されます。



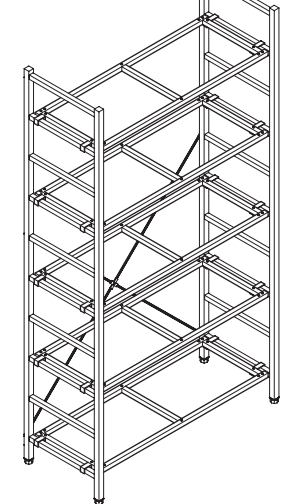
棚フレームは、側フレームの縦柱間を通るサイズですので、片側の側フレームを通り抜かせてから、もう片側の側フレームへ掛けるようにしてください。

⑥他の棚フレームを取り付けます。

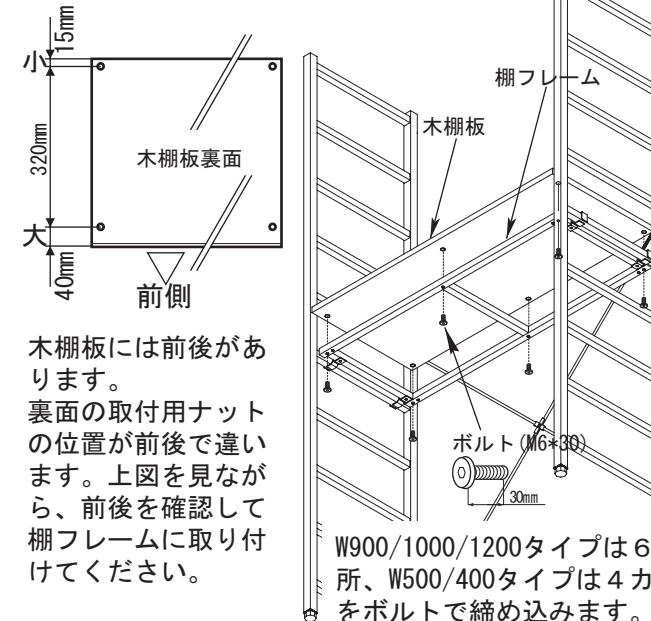
棚フレームの前後位置は、側フレームの縦柱の内側に、棚フレームの前後の角パイプが入っているように取り付けてください。



⑦設置場所に置き、背筋交い、棚フレームのボルトを本締めして、アジャスター調整をします。

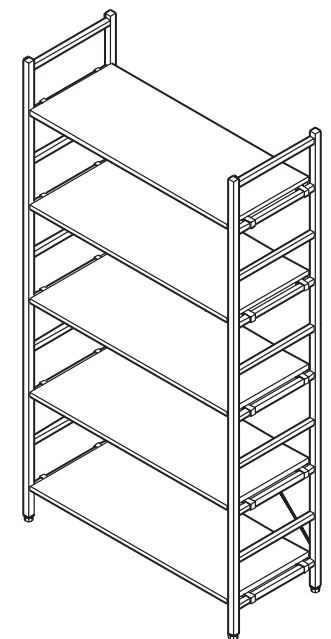


⑧木棚板を取り付けます。



W900/1000/1200タイプは6カ所、W500/400タイプは4カ所をボルトで締め込みます。

⑨最後に、全てのボルトが締まっているかを確認してから使用してください。



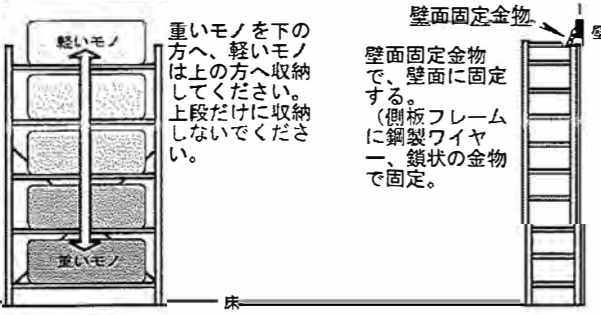
フレームラックOS 基本組立説明書

20201027

※設置使用に際して、ご注意いただきたいこと。

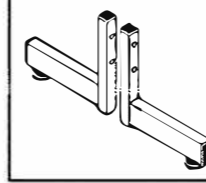
警告

- 家具が倒れてけがをすることを防ぐために、建物の壁面、天井、床等に固定する等の、倒れ防止に留意してください。
- 家具が倒れてけがをすることを防ぐために、上段だけに、収納しないでください。下段より、重い収納物をいれてください。



オプション（別売）で、安定脚をご用意しております。安定脚の取り付けにより、設置面積を広くして、家具の安定を図ります。

安定脚 OS-SP18ARK



※安定脚は、プレス製には、取り付けられません。壁面を背にして設置してください。

Frame-Rack

フレームラック 本体ラック 取扱説明書

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用いただけますよう、お願い申し上げます。お読みになった後は、大切に保管してください。

20201027

警告

- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 棚板には登らないでください。棚板がはずれて転倒したりこわれてけがをすることがあります。
- 高さ1800mmをこえる天板には物をのせないでください。振動等により物が落下してけがをすることがあります。
- 棚板には40kg以上の物をのせないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。
- 危険物（壊れ物、毒物劇物等を含む薬品類、生き物など）を収納しないでください。人体や衣服を傷つけることがあります。
- 現金、証券等の貴重品は収納しないでください。鍵を壊されて盗まれることがあります。
- 本体を移動させる際、天板を持たないでください。天板がはずれて、ケガをすることがあります。
- ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。本体がこわれてけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体がこわれてけがをすることがあります。
- 用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。

一般のご注意

- 直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- 移動するときは二人以上で側板を持って、持ち上げてください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- 高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- 棚板等の上に水等をこぼしたら、ただちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれることがあります。

お手入れ方法

- ボルトやネジのゆるみが発生した場合は、増し締めを行ってください。
 - 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った布などで拭いてください。
 - 汚れのひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布などで拭いて洗剤を完全に洗い除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター
Tel.0120-331-753 10:00~12:00 13:00~17:00
(土日曜祝日、年末年始を除く)

品質表示

- 外形寸法
OS-SP18 幅25mm×奥行400mm×高さ1,858mm
OS-SP14 幅25mm×奥行400mm×高さ1,451mm
OS-B12 幅1237mm×奥行14mm×高さ930mm
OS-B10 幅1037mm×奥行14mm×高さ930mm
OS-B09 幅937mm×奥行14mm×高さ930mm
- 素材
鋼製

- 取り扱い上の注意
直射日光又は熱を避けてください。据え付けに際し、湿気の多いところを避け、アジャスターの調整で書庫を水平に設置してください。

■表示者 プラス株式会社ガラージ営業部
東京都千代田区九段北 4-1-7

made in Taiwan

部材

最初に必要な部品が揃っているか確認してください。似ている部品でも左右、上下で異なる場合がありますのでご注意ください。

SIDE FRAME (側板)

OS-SP18 OS側板H18
側フレーム 1ヶ
アジャスター 2ヶ
(フレーム下部に取付済み)

※ご注意ください
側板H18 (OS-SP18)には、同形状でも本仕様と、それ以前の旧仕様があります。見分け方は、梯子状の横パイプの下から、1, 4, 5, 6番目に2カ所ずつネジ穴があいているモノが本仕様で、あいていないモノは旧仕様になります。そのため旧仕様には、背板OS-BP12、安定脚OS-SP18ARKは取り付けられません。

OS-SP14 OS側板H14
側フレーム 1ヶ
アジャスター 2ヶ
(フレーム下部に取付済み)

BRACE (筋交い)

OS-B12 背プレスW1200用 筋交い (2本) 1549mm

OS-B10 背プレスW1000用 筋交い (2本) 1395mm

OS-B09 背プレスW900用 筋交い (2本) 1321mm

BRACE 筋交い共通部品

- ボルト M6×15 (5ヶ) +予備
 - 筋交い組立用ナット (1ヶ)
 - 六角レンチ (1本)
 - 十字支柱組立用スパナ (1本)
- ※本六角レンチは、以降のOS組立時に必須ですので、大切に保管してください。

組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる恐れがあります。必ず二人以上で組立てください。



- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。二人で作業
- 組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください

注意



- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組み立ててください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。

①筋交いを組み立てます。

中央部の凹部を同じ方向で組み合わせてネジとナットで十字になるようにセットします。

ネジM6×15 (筋交いに在中)
ナット (筋交いに在中)

六角レンチ

ボルトをスパナで押さえながら、六角レンチで締めます。(仮止めの状態)

※筋交いは、棚板と同じ幅のモノをお使いください。棚板の幅と筋交いが合っていない状態では、組立できません。
※筋交いは、強度部材ですので、必ずご使用ください。筋交い無しでは、ラックが自立しません。

②側フレームに上記の筋交いを取り付けます。

ネジ M6×15 (筋交いに在中)

側フレーム

ネジ

筋交い

側フレーム

筋交いは側フレームに密着するように取り付けてください。

側フレームには前後ろの区別があります。後ろ側には、筋交い取付用のビス穴が空いています。

ここでは、ネジを締め付けず、仮止めの状態にしてください。

③棚フレームに緩衝材を貼り付けます。

緩衝材不織布(白)

棚フレーム

棚フレームを裏返します。次に、緩衝材の不織布(白)の裏面の紙を不織布が剥がれないように注意して剥がします。そして、棚フレームの両サイドの4つのL字(コ字)金物部に図のように貼り付けます。

緩衝材不織布

L字(コ字)金物部

棚フレーム

棚フレームを正面から見た略図

④棚フレームの取付方を理解しましょう。

OSフレームラックは、横への増連が可能です。そのために、隣り合う棚フレームは、前後を互い違いに設置しなければなりません。

ラックを上から見た略図

筋交い

筋交い

側フレーム

側フレーム

棚板

棚板

前

このことを念頭に置いて、最初の1連目は、上図の左側(太い点線)のように、棚フレームの引っ掛け部(L字金物部)が後ろに来るように取り付けるようにすると良いでしょう。

また、側フレームへの取付前に、棚板を棚フレームに取り付けると、棚フレームが取り付けられなくなるので、必ず、先に棚フレームだけを側フレームに取り付けてください。

⑤棚フレームを2ヶ取り付けます。

OSフレームラックは、側フレーム、棚フレーム、筋交いにて強度を確保する構造になっています。そのため、棚板(棚フレーム)は筋交い取付部付近に配すると、その効果が発揮されます。

棚フレームを側フレームに掛けた後、フレーム締結金具で、仮固定してください。

フレーム締結金具で、仮固定した後、二人でラックを立ち上げます。

棚フレームは、側フレームの縦柱間を通るサイズですので、片側の側フレームを通り抜けてから、もう片側の側フレームへ掛けるようにしてください。

正面から見た略図

側フレーム

棚フレーム

フレーム締結金具

ボルト(M6×15)

ボルト(M6×15)

フレーム締結金具

⑥他の棚フレームを取り付けます。

棚フレームの前後位置は、側フレームの縦柱の内側に、棚フレームの前後の角パイプが入っているように取り付けてください。

筋交い

筋交い

側フレーム

側フレーム

棚フレーム

棚フレーム

ラックを上から見た略図

筋交い

筋交い

側フレーム

側フレーム

棚フレーム

棚フレーム

⑦設置場所に置き、背筋交い、棚フレームのボルトを本締めして、アジャスター調整をします。

⑧木棚板を取り付けます。

木棚板には前後があります。裏面の取付用ナットの位置が前後で違います。上図を見ながら、前後を確認して棚フレームに取り付けてください。

W900/1000/1200タイプは6カ所、W500/400タイプは4カ所をボルトで締め込みます。

小

大

320mm

40mm

木棚板裏面

前側

木棚板

棚フレーム

ボルト(M6×30)

30mm

⑨最後に、全てのボルトが締まっているかを確認してから使用してください。

フレームラックOS 取扱説明書

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。
お読みになった後は、大切に保管してください。

20201027

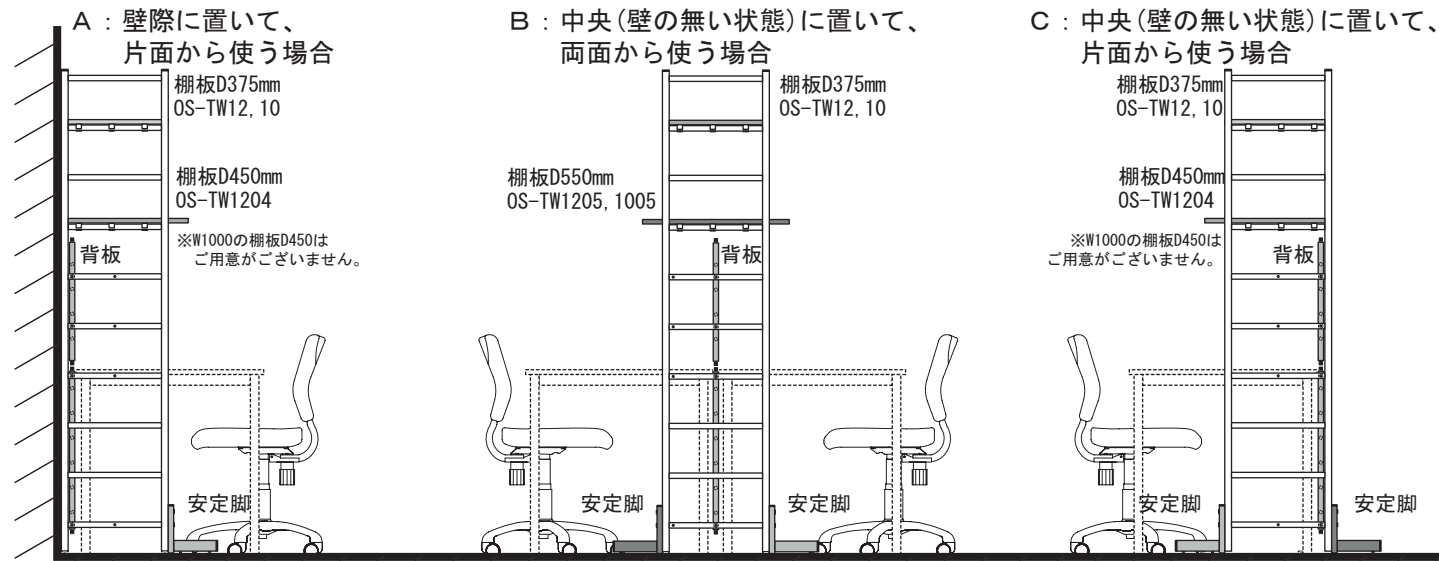


- 背板を使用して、デスク上の机上棚としてご使用の場合、ラックはデスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。
- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 棚板には登らないでください。棚板がはずれて転倒したりこわれてケガをすることがあります。
- 棚板には40kg以上の物をのせないでください。棚板が落下してケガをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、毒物劇物等を含む薬品類、生き物など)を収納しないでください。人体や衣服を傷つけることがあります。
- 現金、証券等の貴重品は収納しないでください。鍵を壊されて盗まれることがあります。
- ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。本体がこわれてケガをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体がこわれてケガをすることがあります。
- 用途以外では使用しないでください。ケガをすることがあります。

背板を使用して、デスク上の机上棚としてご使用の場合、ラックはデスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。



一般のご注意

- 直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- 移動するときは二人以上で側板を持って、持ち上げてください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- 高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- 棚板等の上に水等をこぼしたら、ただちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれることがあります。



お手入れ方法

- ボルトやネジのゆるみが発生した場合は、増し締めを行ってください。
- 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った布などで拭いてください。
- 汚れのひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布などで拭いて洗剤を完全に取り除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。



お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。
ガラージお客様センター

Tel. 0120-331-753 10:00~12:00 13:00~17:00

(土日曜祝日、年末年始を除く)

品質表示

- 外形寸法
OS-BP12 (背板のみ) 幅1230mm×奥行20mm×高さ1116mm
OS-BP10 (背板のみ) 幅1030mm×奥行20mm×高さ1116mm
OS-SP18ARK (1ヶ) 幅20mm×奥行184mm×高さ195mm
OS-TW1205 幅1265mm×奥行550mm×高さ38mm
OS-TW1005 幅1065mm×奥行550mm×高さ38mm
OS-TW1204 幅1265mm×奥行450mm×高さ38mm
- 素材
背板、安定脚、棚下フレーム: 鋼製
棚板: 木製 (OS-TW1205/1005/1204)
- 取り扱い上の注意
直射日光又は熱を避けてください。
据え付けに際し、湿気の多いところを避け、アジャスターの調整で書庫を水平に設置してください。
- 表示者 プラス株式会社ガラージ営業部
東京都千代田区九段北4-1-7

made in Taiwan

フレームラックOS 組立説明書

20201027

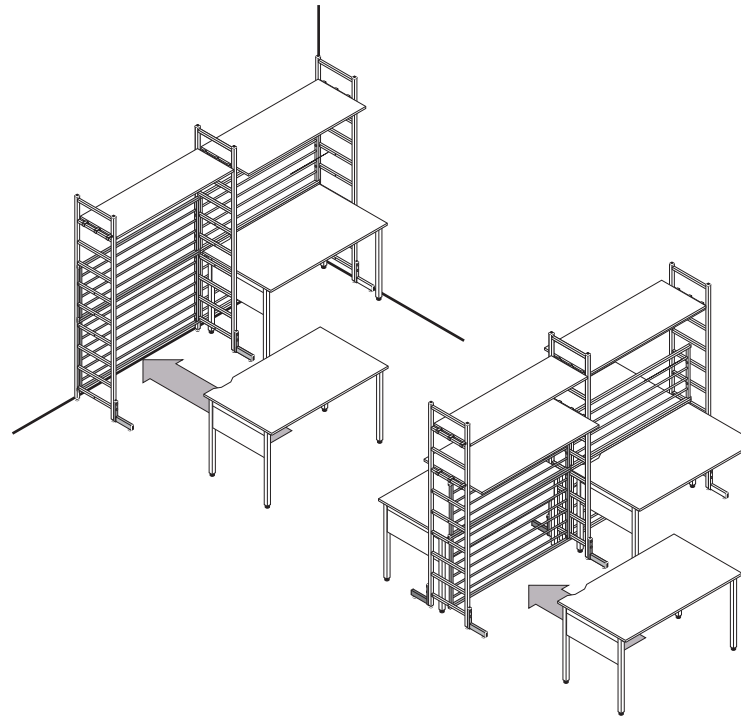
組立の前に必ずお読みください。
不適切な組立は事故につながる恐れがあります。
必ず二人以上で組立てください。



- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください。



- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをすることがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組み立ててください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをすることがあります。

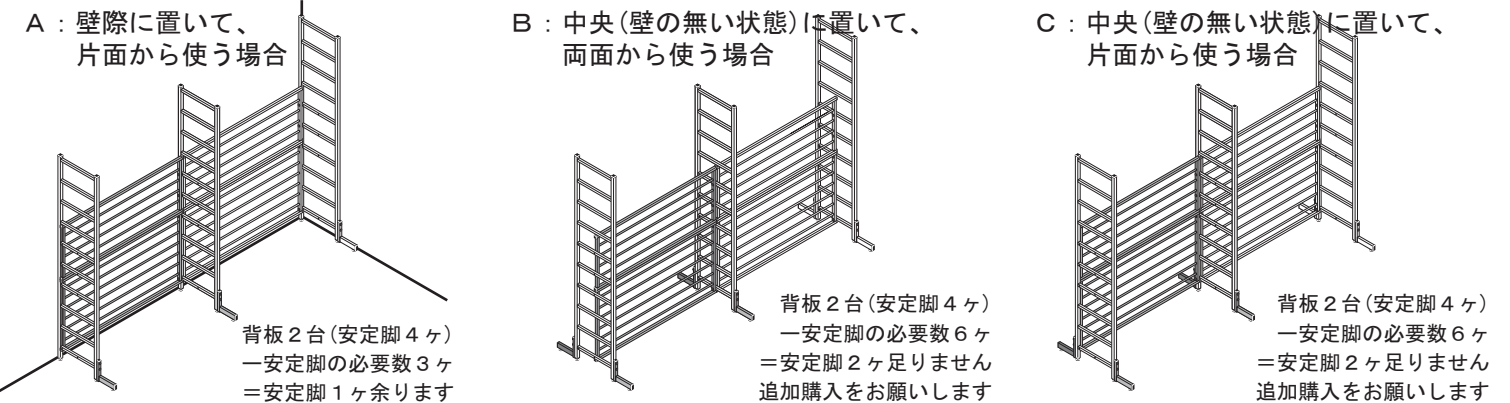


部材

最初に必要な部品が揃っているか確認してください。
似ている部品でも左右、上下で異なる場合がありますのでご注意ください。

BACK PANEL (背板)		LEG (安定脚)	RACK BOARD (棚板)	
OS-BP12	OS-BP10	OS-SP18ARK	OS-TW1205	OS-TW1005
OS-TW1204				
背板(上) 1枚	背板(下) 1枚	安定脚 (アジャスター付) 2ヶ	フレーム締結金具 6ヶ	フレーム締結金具 6ヶ
横パイプ(丸パイプ)が4本の物が、背板上で、6本の物が背板下になります。		ボルト(M6*30) 4本	緩衝材不織布(白) 6枚+予備	緩衝材不織布(白) 6枚+予備
安定脚(アジャスター付) 2ヶ (OS-SP18ARKと同じ物です)		六角レンチ 1本	ボルト(M6*15) 6本	ボルト(M6*15) 6本
ボルト(M6*30) 15本			ボルト(M6*30) 6本	ボルト(M6*30) 6本
六角レンチ 1本			木棚板 1枚	木棚板 1枚
			棚フレーム 1ヶ	棚フレーム 1ヶ
			※組立用の六角レンチは、背プレスに付属しており、本製品には付属していません。	※組立用の六角レンチは、背プレスに付属しており、本製品には付属していません。

例えば、2連の場合の安定脚の数量



① 背板の上下を組み合わせます。

※背板は、強度部材ですので、必ずご使用ください。背板無しでは、ラックの強度ができません。

六角レンチ

M6ネジ穴 3カ所
貫通穴 3カ所
M6 x 30ネジ
六角レンチで、締めますが、側板との組立時に、ねじ穴を合わせやすいように、仮締めにします。

背板(上)
背板(下)
組み立てる際は、こちらを上にして、側板と組み合わせます。

② 使用方法を選び、安定脚、背板の取付位置を確認します。

A: 壁際に置いて、片面から使う場合
B: 中央(壁の無い状態)に置いて、両面から使う場合
C: 中央(壁の無い状態)に置いて、片面から使う場合は、背板を縦パイプ側のネジ穴に取り付け、安定脚は、1つの側板につき、2つ(両面)付けてください。

安定脚は、必ず、1つの側板につき、1つ付けてください。

安定脚は、必ず、1つの側板につき、2つ(前後両面)付けてください。

安定脚は、必ず、1つの側板につき、2つ(両面)付けてください。

警告 デスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。

警告 デスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。

③ 安定脚を側板に取り付けます。

六角レンチ

1つの安定脚に、ネジを2カ所ずつ締めます。

ネジM6 x 30

六角レンチ

④ 側板と背板を組み立てます。

六角レンチ

側板の左右各4カ所ずつ、ネジを締めます。計8カ所

中間置きの場合の背板取付位置
壁際置きの場合の背板取付位置

この時に、ネジをしっかり締めてしまうと、棚板が入りにくい可能性がありますので、仮締めにしてください。

六角レンチ

① 基本的な組立方法は、プレス(筋交い)に同梱の組立説明書、及び左記背板の組立説明書をご参照ください。ここでは、それぞれに固有の部位のみを記述します。

② 棚フレームに緩衝材を貼り付けます。
(OS-TW1204/1205, 1005共通)

緩衝材不織布(白)

棚フレーム

棚フレームを裏返します。次に、緩衝材の不織布(白)の裏面の紙を不織布が剥がれないように注意して剥がします。そして、棚フレームの両サイドの4つのL字(コ字)金物部に図のように貼り付けます。

L字(コ字)金物部
緩衝材不織布
棚フレーム

棚フレームを正面から見た略図

③ 棚フレームの取付方を理解しましょう。

OSフレームラックは、横への増連が可能です。そのために、隣り合う棚フレームは、前後を互い違いに設置しなければなりません。

ラックを上から見た略図(幅方向の長さは省略しています)

OS-TW1205, 1005
OS-TW1204

側フレーム
棚フレーム
棚板

側フレームへの取付前に、棚板を棚フレームに取り付けると、棚フレームが取り付けられなくなるので、必ず、先に棚フレームだけを側フレームに取り付けてください。

④ 棚フレームを取り付けます。

棚フレームの前後位置は、側フレームの縦柱の内側に、棚フレームの前後の角パイプが入っているように取り付けてください。

棚フレームの固定には、必ずフレーム締結金具をボルト(M6*15)にて締め付けてください。

側フレーム
フレーム締結金具
ボルト(M6*15)
棚フレーム
ボルト(M6*15)
フレーム締結金具

正面から見た略図

OS-TW1205, 1005
OS-TW1204

棚フレームは、OS-TW1204/TW1205と共通です(OS-TW1005とは幅以外は共通です)

棚フレームは、OS-TW1204/TW1205と共通です(OS-TW1005とは幅以外は共通です)

ラックを上から見た略図(幅方向の長さは省略しています)

⑤ 設置場所に置き、背筋交い、背板、棚フレームのボルトを本締めして、アジャスター調整をします。

⑥ 木棚板を取り付けます。

木棚板(TW-1204)には前後があります。裏面の取付用ナットの位置が前後で違います。下図を見ながら、前後を確認して棚フレームに取り付けてください。

OS-TW1204

厚み2mmのエッチ材

OS-TW1205, 1005については、両面(前後)から使えるために、前後の区別はありません。

OS-TW1204/1205, 1005は6カ所をボルトで締め込みます。

厚み2mmのエッチ材

⑦ 最後に、全てのボルトが締まっているかを確認してから使用してください。

棚フレーム
木棚板
ボルト(M6*30)

厚み2mmのエッチ材